

2012年7月（日本国大使館）

## 安 全 情 報

～けん銃強盗に注意（フーテンのトラさん編）～

「自分の身は、自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

《今回は、カンボジア国内で活動する在留邦人の方が実際に体験された、けん銃使用の強盗事件被害について紹介させていただきます。》

～現在のカンボジア治安情勢が気になるトラさん、演歌流しのサブちゃんが体験した「けん銃強盗被害」について聞き込んでいます。～

トラさん：おい、サブちゃんよー、お前、この間けん銃を使用した強盗にあったんだと…。

サブちゃん：おっ、そうなんだよ、トラさん。

トラさん：えっ、じゃ俺は今、サブちゃんの幽霊と行き会っているというのかい。

サブちゃん：そんなことはねーだろー。ピンピンしてら、ほら五体満足だぜ。

トラさん：おっ、そら良かったな、無事で何よりだ。

俺は、サブちゃんの歌がもう聴けねんじゃあねーかと心配していたんだ。

サブちゃん：そりゃ、いらぬ心配を掛けさせて面目ねえ。

実のところ、何の被害もなかったんで内緒にしておこうかとも思ったんだけどよー、おいらと、同じ被害に遭う人が無いよう注意して貰うため、トラさんには話しておこうと思いついてきたっていう訳だ。

トラさん：おおっ、そうかい。良い心掛けだ。

して、どんな事件だい。

サブちゃん：それは、5月中旬の夕方5時少し前のことだった。

おいら、その日は天気が良かったんで、歩いてバンケンコン地内の51番通りから294番通りに入り、ノロドム通りを渡って焼肉レストラン「フォーシーズン」へ出掛けようと思ったんだ。

おいらのその時の服装は、いつもと同じハーフパンツにポロシャツ姿でビジネスバックを肩から掛けた状態だったんだ。

道のどっち側を歩いていたらいいかい。そりゃ日本人、歩くときはいつも右側通行だ。

しばらく294通りを歩いて、ちょうど店が切れた51番通りとノロドム通りの真ん中くらいに来たところで、おいらのズボンのポケットの中にしまっていた携帯電話アイフォンのメール着信音がしたんだ。

おいら、誰からのメールか確認しようとアイフォンをとり出し携帯画面を覗いたところで後ろからやって来たんだよ。

トラさん：何がだい。

サブちゃん：奴らだよ、強盗団。バイクに乗った強盗だよ。

まさか、その時は強盗団だとは思わねえよ。

夕刻とはいえ周りはまだ明るいからよー、後ろからバイクが来たくらいにし  
か思わなかったんだ。

だけど、そのバイクは、おいらの進行をはばかりかのように前に止まり、後ろ  
に乗っていた20歳前後の若い男が降りて、おいらの前に立ち塞がったんだ。  
そして、ポケットからけん銃を出しておいらの耳元にけん銃の銃口を押し付け  
てきやがったんだ。

おいら、すぐにけん銃だって分かったよ。

だって、カンボジアはこの間まで戦争していた国だし、未だ内戦の異物のけん  
銃が出回っていることくらい知っていたからな。

しかし、最初は何だ、こいつらおいらの前に止まりやがって邪魔だな何か文句  
でもあるのかかって思っていたんだけどよ、出てきたのがけん銃だろ、おいら  
恐ろしくなってよ、こりゃやばい、どうしようと思った瞬間、その男は左手で  
おいらの携帯電話 아이폰 を取ろうとしたんだ。

トラさん：してどうした。

サブちゃん：人間っていうのは、面白い生きものだね。なぜか、その時おいら本能的に「う  
わー」と大声を出して、その場に倒れ込んだんだ。

自分でもビックリするくらい大きな声が出たよ。いつもの発声練習の成果だね。  
しかし、とっさの時に倒れ込もうなどとは、考えたこともなかったね。ただ、  
自然にそんな状態になったんだ。

すると、奴らは倒れ込んだおいらに乗りかかって 아이폰 を奪うでもなく、  
そのまま乗ってきたバイクで東に逃げて行ってしまったんだ。

トラさん：誰か助っ人はいなかったのかい。近所の人はどうだったい。

サブちゃん：おいらの声を聞いて、近所の野次馬10名位が周りにいたけど、奴らがどこ  
かへ行ってしまったため、その場には地べたからおもむろに立ち上がるおいら  
だけが残された状態となったんだ。

だから、近所の野次馬も起き上がるおいらを見て「どうしたんだ。」「何があつ  
たんだ。」と言わんばかりの怪訝そうな顔をして再び建物の中に入ってしまつた  
んだ。おいらも、奴らのバイクがノロドム通りを渡り東の方へ向かって行く姿  
を見たので、もう近くにいないから大丈夫と安心したので、近所の人に何があ  
つたかを説明しなかったんだ。カンボジア人に見れば、けん銃強盗くらい  
当然のことだろうからね。

しかし、すべてが一瞬の出来事で本当に驚いたよ。

また、こういうのは後からジワジワと恐怖感が湧き出てくるって感じだね。

トラさん：サブ、良かったなー、その程度で終わってよ。

6月の初旬には、午後9時30分ころプサ・トメイ（セントラルマーケット）付近を散策していた日本人旅行者が、首絞め強盗の被害にあい意識不明の状態で現地の病院へ運ばれ数日間入院したという事件も発生したからねー。

サブちゃん：いやー、五体満足で本当によかったよ。

いずれにしても、慣れが肝心だね、あの日は天気が良かったし、最近のカンボジアは治安も良くなったなどと思い込んだものだから、つい調子に乗って歩いて出掛けたんが悪かったね。

今回の教訓として、

- ◎ 日中であろうと徒歩での移動はなるべく避ける。
- ◎ 携帯電話など（カメラ撮影含め）むやみに高価なものを出さない。
- ◎ 彼らはバイクで逃走できるので人ごみなど関係なく襲ってくる。
- ◎ 抵抗はしない。

というのを感じたよ。

いや、今思えばトラさんの言うとおりに、カンボジアは、まだまだ安心して一人で歩き回ることが出来る国ではない、ということが良く分かったよ。

トラさん：そりゃー良い勉強になったな。

しかし、一人で出歩くのが危険ということで誰かを頼るのは良いが、最近アンコール遺跡群のあるシアムリアップ州あたりでは、日本人による無許可旅行ガイドというのが多発して金を騙し取っているらしい。

何でもヤスさんからの情報によると、訳の分からぬところへ連れて行って法外な金額を請求するらしい。

旅のお方よ、気を付けておくんなさい。

以上